

ベトナム協会設立50周年記念式典ご挨拶



会長 檜田 松 塹
(utsuda syoei)

本日は、当協会設立50周年記念セミナーにご参加を頂き、誠に有難うございます。

先ずご来賓の皆様をご紹介申し上げます。
駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使 グエン・クオック・クオン閣下、ベトナム日本友好協会 副会長・元駐日ベトナム大使 グエン・フー・ビン閣下、ベトナム日本友好協会前会長、現ベトナム科学技術連合会副会長ギェム・ヴー・カイ閣下、外務省 アジア大洋州局 南部アジア部 部長梨田和也様 ご公務多忙の中をご臨席頂き誠に有難うございます。

本日ベトナム協会設立50周年を皆様と祝う事が出来大変嬉しく思います。ひとえに当協会の活動を長年に渡りご支援いただきました皆様のおかげです。この場を借りして厚く御礼申し上げます。

私は2009年にベトナム協会会長職をお引き受けしました。それ以来、ハノイでの経済交流会の開催、日越友好樹立40周年の様々なイベント、定例となっている講演会、研修会、ベトナム人留学生への支援事業等を通じて協会会員並びに関係者の皆様と日越友好の活動を推進して参りました。

50周年を迎えた本年、奇しくも当協会と同じ1965年に設立されたベトナム日本友好協会、日越友好の志を同じくする同協会との提携が合意したことをご報告致します。

同協会との提携によって、日越友好の活動をより一層幅広く、充実したものとし、次の50年を担う両国の若い世代がアジアのリーダーとして活躍する事が出来る様、支援していきたいと考えます。2013年の日越国交樹立40周年以来、両国友好の関係は益々深化しています。本年は日本のODAによるハノイ ノイバイ空港新ターミナル及びニャタン橋の竣工、グエン・フー・チョン書記長、グエン・タン・ズン首相他多数の政府要人の来日に象徴されるように、両国の「戦略的パートナーシップ」関係を更に高める数々の出来事がありました。

民間に目を向けても、ベトナムへ進出する日本企業は増加の一途をたどっており、現地日本商工会 会員数は1400社を超え、経済関係のみならず、人材育成、社会貢献活動等重層的なものになっています。

又、日本へのベトナム人留学生の来日も急増しており年間1万人を超え、第一位の中国に肉薄しています。このように、国と国の関係のみならず、経済界と経済界、人と人との交流が両国関係をより強固なものにし、将来の両国関係に資するものと強く感じています。さて、本日のセミナーは、サービス産業をテーマとして、講演会並びにパネルディスカッションの2部構成としました。ベトナムの勤勉な国民資質と日本のものづくり文化が相俟って、既に多くのメーカーが進出し相互協力関係を構築している事は御既承の通りです。今後、サービス産業分野でもベトナムの勤勉な国民資質と日本のおもてなしの文化が上手く融合するものと考えます。

本日ご参加の皆様には、ベトナムをより深く知っていただき、また両国の友好関係を更に高めていただく機会となれば幸いです。

以上、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

公益目的事業 ベトナムの経済・文化・教育等に関するセミナー・研究会・講演会等の開催 (日本又はベトナムでの開催)

<日越親善> ベトナム日本友好協会と友好団体協定



セミナー・シンポジウム

ベトナムのタイムリーな諸問題や課題をテーマに取り上げ、わかりやすい説明と討論によって、ベトナムの理解をさらに深める機会の提供行っています。

パネルディスカッション タイムリーなテーマを採用する。

【中小企業のベトナム進出を考える】

【サービス産業のベトナム進出を考える】 など



講演会

ベトナムの経済・政治・教育・文化など多彩な講師による講演会



ベトナム研究会

ベトナムで活躍する日本人や他団体の活動及びタイムリーなテーマを取り上げて研究会を開催します。



浅羽佐喜太郎&ファン・ボイ・チャウの友情の地を訪ねる

ベトナムニュース



機関誌「ベトナム」



<http://javn.or.jp>

ホームページ上にベトナムの最新ニュースを毎月更新。ベトナムの政治、経済、文化、教育、法律改正、更に日本企業の進出や活動などを掲載しています。

設立以来発行してきた機関誌「ベトナム」は日越の歴史を知る貴重な資料です。毎年発行。

ベトナム人留学生支援

VYSA 在日ベトナム学生青年協会と連携して、チャリティーコンサートの共催や旧正月祭、ジョブフェアの後援など、若いベトナム人の支援を通して両国の友好親善と経済発展をサポートしています。



ベトナムに関するご相談 無料

- ベトナム企業のパートナー探し
- 貿易促進
- ベトナム人材・実習生
- 視察等のアレンジ
- 通訳紹介 等
- 教育機関との交流
- 留学生募集
- 政府機関等のアポイント